



広報

うまじ

第200号

平成13年8月1日発行



馬路営林署土場と日浦地区（昭和30年ごろ）

広報二〇〇号記念集

目次

特集1	さようなら旧馬路営林署 馬路営林署の歴史とその概略 --- ②~③ 私の営林署時代 ----- ④~⑨ 昭和30年頃の日浦地区 --- ⑩~⑪
特集2	ニコラさんの旅立ち ----- ⑫~⑮
お知らせ	平田にもどろん利用しよう!中芸広域体育館 ⑯ 教育トピックス ----- ⑰ 赤ちゃん万歳 ----- ⑱
	村のできごと・村内あちらこちら --- ⑲

初
心

昭和40年3月20日、「広報うまじ」創刊。そこには、魚梁瀬丸山台地移転の記事がくわしく記録されています。そして、36年が過ぎ、記念の200号の発刊です。

創刊号で、山崎公好村長が述べた「広報は住民と自治体を結ぶ最大の施策」という初心を忘れることなく、さらに地域住民の皆さまに愛される広報を目指したいと考えています。

馬路村長 上治 堂司

さようなら 旧馬路営林署

村民の暮らしにさまざまにかかわり、一つの時代を築いた旧馬路営林署は、この8月をもって、長い歴史に幕を降ろすことになりました。村民、関係者の声をもとにその足跡を書き記してみました。

馬路営林事務所 (馬路営林署)の沿革

- 明治19年、高知大林区署開庁に伴い、安芸小林区署管轄区域として管理
- 明治29年 馬路村影地区に馬路小林区署として発足（現在の魚梁瀬事務所管轄地域を含む）
- 大正13年 馬路営林署（官制改革）
- 大正14年 馬路村日浦地区の現在の位置に移築
- 昭和4年 魚梁瀬営林署新設により魚梁瀬地区を分離
- 昭和29年 現庁舎新築
- 昭和54年 魚梁瀬営林署に統合され、魚梁瀬営林署馬路営林事務所と名称を変更
- 平成11年 安芸流域の営林署が安芸森林管理署に再編されたことに伴い、安芸森林管理署魚梁瀬事務所馬路営林事務所と名称を変更
- 平成13年8月 安芸森林管理署魚梁瀬事務所に統合され、廃止

資料提供 魚梁瀬事務所 中野 亨さん

馬路と安田間の里道（幅六尺）は、明治二十七年、中山村長等の努力により安田川西岸に開かれ、また郡道として明治三十三年、中山と安田間が完成、馬路と中山間は高知大林区署（営林署）が村道として開き、明治三十六年には馬路と安田間は非常に便利になりました。

明治四十四年軌条（鉄道、軌道）が敷設されるまで、材木、ボサ等は安田川を流していま

馬路営林署の歴史その概要

馬路公民館長 山中 巖

「管流し」「イカタ流し」等でした。イカタ流しは、安田川等小さい川では無理であったようです。軌条が始めて敷設されたのは、明治四十年安田川山林道のトローリ運搬でした。明治

開庁されました。大正十三年十二月、馬路小林区署が馬路営林署に改められ、日浦地区の現在地へ移転（建坪三十四坪）しました。昭和四年五月、馬路営林署を分轄し、馬路営林署、魚梁瀬営林署となりました。昭和二十九年三月三十一日、建坪七十三坪の現在の

庁舎を新築しました。そして国有林三、五六〇ヘクタール。公有林野官行造林地二四四ヘクタールを管理経営してきました。そして昭和四十八年度をもって天然林の伐採が終了し、昭和五十四年三月一日、馬路営林署は魚梁瀬営林署へ統合され、馬路営林事務所が

設置されましたが、平成十三年八月一日をもって閉鎖となります。しかし安田川山の奥地には少ないながらも、杉・檜・トガサワラ等の天然林が保存林として残されています。また、生産森林組合と林業構造改善事業による部分林契約を締結し、その成林が望まれています。

次に馬路営林署の組織ですが、昔の資料がありませんので統合前の組織を記します。（表1）
なお、事業課の中に保線工が居て軌条の保線、修繕をしてきました。営林署専用の事業電話は、米国ポーター社製ワルシャード蒸気汽関車（二輛）が大正十二年、田野と石仙間に導入され運行を始めた時に設置されたとも言われています。



馬路営林事務所(旧馬路営林署)庁舎

次に事業所はどのような仕事をし、変ってきたのでしょうか。各事業所には、本署の事業課長のもとに、主任、次席、職員、労働者が居て、事業を行っていました。その年代によって、事業所の場所も、職員、労働者数、予算等も当然変わっています。現在七十歳の方が若い時に安田川事業所へ就職した話しによりますと、事業所には百人くらいの方がいたと感じたようです。長屋が六棟ほどあり、一人二畳の部屋で床は藁、外側は廊下が

つづいていた。家族のある方は、特別の棟が二・三棟（一棟に四世帯）あったようだと記憶をたどってくれました。また、来客用の棟もあり、畳も敷かれ立派な部屋があったようです。八十歳の女性は、若い時代に安田川事業所へ歩いて通い、片道三時間を要したと言います。次に事業所の変遷を表にしますと表2のとおりです。さて、昭和四年、小さい馬路村に営林署が二つも設置されましたことは、全国にも例がなく、馬路村は営林署村と

も呼ばれ、ある時期には、馬路村には三人の村長がいると噂されました。言うまでもなく、馬路営林署長、馬路村長、魚梁瀬営林署長の三人でした。馬路村民は職種を選ばなければ、ほとんど全員が営林署へ就職できる時代がありました。その上、村当局はもちろん各種団体、村民は直接間接を問わず営林署の恩恵を受けてきたのです。そして村民も営林署（国有林野事業）に対する愛着は特別に深く、一体的な気持を持っていました。その例を事故で記すことは如何かと

考えますが、一件だけ大惨事を記します。昭和十四年六月四月、魚梁瀬中川事業所に山火事が発生し、村民はわが家の火災の如く考え、馬路発のガソリン機関車にて現場へ急行しました。積ヶ生（たかのみ）の急カーブを曲り切れず、脱線、約四十メートル下の奈半利川に転落、十四名の死者と多数の重軽傷者を出したのです。私の身内の者も一名死亡、何人か重軽傷を負いました。心から哀悼の意を表し、お見舞い申し上げます。百十余年の歴史を持つ馬路

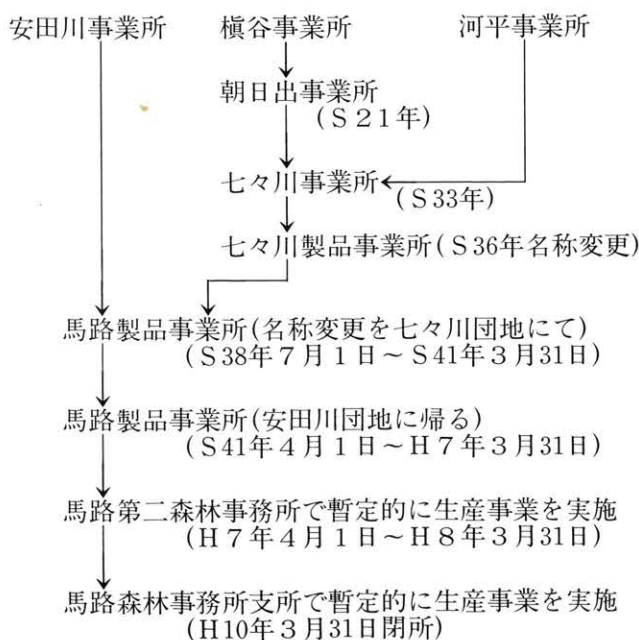
営林署について、骨格の一部を記し、血や肉の部分は限られた紙面では十分に書けません。またの機会を待ちたいと思います。最後に、私たちは現在の馬路営林事務所（営林署）の庁舎を永久に保存したいと考えます。村民の皆様のご協力をお願い申し上げます。この稿を終ります。

注(1)資料は四国俊一氏その他の方のご協力を戴きました。
注(2)鉄道・軌道を「軌条」と記しました。

表1

署長 管理官	庶務課…庶務係・労務係 厚生係（土場、各事業所に販売所）
	経理課…経理係・処分係 （昭和33年設置）
	経営課…造林係・収穫係・治山係
	事業課…生産係・販売係・土木係

表2



声 I

私の 馬路営林署時代



※古い時代の写真はこのアルバムの中の写真です。



庶務課時代の岩城さん(中列左から2人目)

この写真のころは、事業所の生活を支える庶務課の物資部で働きよって、生活必需品を仕入れて売りよった。たばこ、酒、米など統制品以外はものすごう安く売ったとき、みんながよう買いに来てくれて、おもしろいばあ売れた。そのことがうんと印象に残った。うね。



岩城 幸茂 さん

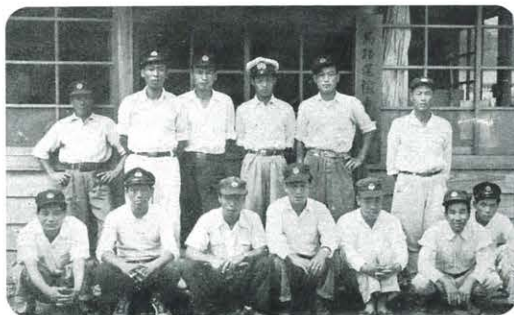


修理工時代の清岡さん(写真中央)

しんどいことは、機械使用よったとき、それほどしんどうは無かったねえ。この写真のころは、仕事が終わった後で、この写真にも写っちゅう修理工の仲間とよいう飲みよったねえ。楽しかったねえ。中島守太郎さん(前列左端)らと一番飲みよった。



清岡 壽明 さん



機関車運転手時代の木下さん(前列左端)

安田から馬路まで交通の便がこれしか無かったとき、皆から「乗せてくれ、乗せてくれ」言われて、これに乗りよった。娘さんには、ようもてたのう。ほんで運転台に乗せたりもしたことがあった。雨降り、霜のときはブレーキがきかんき、制動夫が砂を散いて空転を止めたりした。



木下國清・富喜 さん

腐らんように油につけた枕木をトロロッコに入れて運びよった。手袋もあんまり無い時代で大変よった。朝も七時半には現場に着いちよらなあいかんき、赤ん坊に乳もやりくさして行つた。ほんで英年(息子)は乳をよもうろうちやあせんぞね。

(富喜さん)

→若かりし頃の富喜さん(後列左端)須衣子さん(前列右端)



この頃は、知り合いから「正逸(夫)は、一週間に一回しか嫁さんに会えんき、土曜日にはリュックサックを持って、嫁さんのところへ走りよるぞ」言うて、ようてがわれました。子どもがお腹におるに、太い腹になつても草引きをよりました。(須衣子さん)

→ トロリ修理工時代の
四國さん(前列左端)



営林署に入ったばかりの一般作業手の中には、何でもせないかんかった。集材機の架線を張るときには、道のない山道を、二百メートルのワイヤーを四人でかついで、しんどくて、汗や涙やらわらんなっちゃった。その時にもううた給料は使われんと思うた。



四國 勝さん



交換室の吉松さん

皆の各家には、電話が無かったときで、朝と夕方、それと事故があったとき、交換室は忙しかったねえ。若かったとき、夜勤の後でよう映画を見に行つて、次の日六時過ぎて、よう起きていかざつたら、先輩の久武夏美さんが起こしてくれて、顔も洗わんと行つたことでした。



吉松 千津子さん



電工の上総さん(右)

南方へ兵隊へ行つて、帰つてから、奈半利運輸事務所であつた後、馬路の営林署で働くようになった。とにかく時間に厳しかったねえ。現場が集合解散場所だったので、朝の暗がりから夜の暗がりまで働かなあいかざつた。災害の安全面では厳しくて、死ぬ人も多かった。



上総 三雄さん



安田川事業所伐木手時代の尾谷さん(前列右端)

伐木手は腕次第で、金はとれた。けんど、なにせ天然木で、木が太いき、切つた木が別の木にひっかかったら、どこへ向いてかやるか分からんき、こわかつた。それと、場所の悪い急斜面では、木が倒れるときに、切り株がはずれてきて、それは怖かつた。とにかく、きつい仕事やつた。



尾谷政治・花喜さん

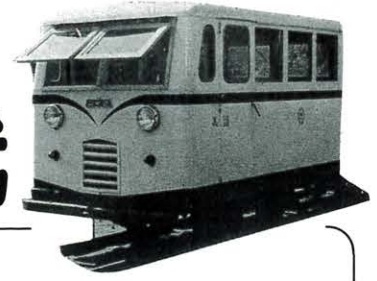


→ 安田川事業所集材手時代の
乾さん(後列左から二人目)

インクラの下の宿舍で、一週間分の野菜とか米とかを負うて来て、泊まりよつた。冬は洗濯板の上でもんで服を洗いよつたら、洗濯しゆう間に洗濯物がバリバリに凍つて、ひようつらかつた。集材機で運びゆう木材にびつしり乗つて、主任さんによく怒られよつた。



乾 正逸・須衣子さん



私の 馬路営林署時代

声 II



保線手時代の北岡さん(右から2人目)

この写真ころは十七才ぐらいのときやねえ。急なインクラの下枕木を交換するのがこわかったねえ。それと、汽車がいつ来るかわからんき、汽車が来るのを気にしもって、その間にいそいで枕木をかえなあいかんけん、道幅が狭いときは、枕木がうまく抜けずに大変やった。



北岡 幸孝 さん



乾 義昭 さん



乾 要・一枝 さん

終戦当時は物不足で、地下足袋がないので、わらじを履いて制動夫をしようとした。やぶれて履けんようになった地下足袋の裏のゴムをわらじの裏にぬいつけて、木材の上を歩

自分たちが入ったときは、細いレールやったりけど、いたんだり曲がったりしやすかった。それで、新しい大きなレールに変えるときに、カーブ



安田川事業所積込組時代の乾要さん(前列左)



安田川事業所保線手時代の乾義昭さん(前列左)

きよった。トンネルでは、寝そべって、天井に頭があたらんように行きよった。頭の上を天井がチャッチャツと音をたてて通り過ぎよった。

に合うように「ジंकロウ」というレールを曲げる機械で、レールを曲げるのが、中腰でねじなあいかんき、すごい大変やった。

馬路営林事務所(馬路営林署)職員の推移

(単位：人)

	昭和40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年
馬路	147	145	126	14	11	7	5	3
(参考)魚梁瀬	269	263	258	352	263	174	109	67

- 注) 1.馬路営林事務所は、昭和53年4月1日に馬路営林署が魚梁瀬営林署に統合され誕生。従って、昭和50年までは馬路営林署、昭和55年以降は馬路営林事務所の数字。
2.昭和55年以降は、魚梁瀬に馬路営林事務所職員の数が含まれている。
3.昭和55年以降の馬路営林事務所には、現場の職員の数は含んでいない。



造林手時代の日浦さん(中列右から2人目)
下田さん(中列右端)

下草刈りは、二、三年目が、木が太うなってきた、風が通りやすく、暑うて大変やった。水を一升ばあ飲まなやれんかった。雨の日は涼しいので、喜んでやった。鎌切れがようなって足を切りそうになった。この写真の当時は、子どもも小さくて、養いもせないかんし、大変やった。



日浦 盛さん



地ごしらえをした山の斜面

父親が病身で、具合が悪うなって、田んぼがあるので、一回営林署をやめちよったけど、この写真の頃、父親の体もだいぶんよくなったので、造林手にもどったがよ。地ごしらえしたところに、苗木を何本も背負うて、かなり遠くまで歩いて行くのが、本当に大変やったね。



下田 進さん



河平事業所時代の吉本さん(前列左から2人目)

勤め始めたときは、戦時中で、森林鉄道が木材を焚いて走る汽車だったので、その炭を負うて、一俵十五キロぐらいのを三俵負うて、道の悪いところを林鉄まで持つていくのがつらかった。安田川の検知のときに天狗森までいかないかんかったと、さも大変やった。



吉本 盛一郎さん



朝日出事業所集材手時代の古田さん(右から2人目)

はじめの頃は、先輩のように使われて、「玉がけ(木材をワイヤーでくくること)しちゃけ」言われたら、ワイヤーを担いで、森の中をたづくりまわらんといかんかった。集材機で木をつるして、降ろしゆう間に、次の木をくくらないかんかったとき、本当に大変やった。



古田 覺さん

馬路営林署の伐採量の推移

(単位: m³)

	昭和40年度	45年度	50年度	55年度	60年度	平成2年度	7年度	12年度
馬路	39,011	27,731	12,441					
(参考)魚梁瀬	71,815	70,659	58,600	71,193	73,220	50,661	48,345	31,982



私の 馬路営林署時代

声 III



岡林宏明・喜與子さん

出来高払いで、請負でやりよったとき、時間がかかったら、金にならない、集材の線が故障したら、今やったら地面で修理するけど、そのときは危険でも最短距離でいかないかんき、つるした木にいっしょにまたがって、高いところまでいって修理をしたりした。それが当たり前やったとき、時代も変わったなあと思う。



朝日出事業所積込組時代の岡林さん(写真中央)



四國 俊一さん

この写真は、落合橋に、自転車、人が通りやすいように木の板をレールの間にしいたときに撮ったがよ。
馬路営林署が統合されるときや、天然木の伐採がでなくなったとき、営林署の節目のときに、その場所において、馬路の国有林の歴史そのものを感ずるねえ。



第四工区保線手時代の四国さん(前列右端)



乾 せき子さん

この写真は、炊事のおばちゃんといっしょに布団の綿入れをしょって、綿もつれになっよかったときに撮った写真がよ。



西岡幸一・節子さん

中学校三年のときに転校して来て、卒業してすぐ朝日出の事業所に勤めました。この写真の隣にいるのが母で、私のモンペは母の古衣着物をと



安田川事業所炊事手時代の乾せき子さん(右)

仕事はしんどいこともあったけど、皆が、人がえい人やったとき、ただもん心がつらいということは無かったね。営林署が元氣な時代がなつかしい。



朝日出事業所炊事手時代の西岡節子さん(左)

いて作ってくれたものです。だんだん人が少なくなってきた感じがしましたが、官舎ぐらしが長く、ふるさとは馬路と思っています。



第I担当区造林手時代の
門田さん(中央の帽子の男性)

この写真の頃は、十八ばあ
の時で、臨時で河平の造林手
で行きゆう時やね。長滝の奥
には、蜜ドウ(養蜂箱)をかや
したばあ、ブト(正式にはブ
ユ)が頭の上に飛んで来て、
目の中、口の中に入るばあおっ
て、払いよつたら、おやじに
「そんなブトをてがいよつた
ら、仕事にならん」ゆうて怒
られたことを覚えちゆう。



門田 勝さん



第III担当区造林手時代の笹岡さん(後列左から2人目)

夏は一番たいそうで、暑う
て、息が切れた。知らんよう
になるばあきつかった。下草
を刈るとき、ブトが山の上に
よけおつて、もぶれるばあく
らあよ。ハチがおつて刺され
たりもした。山から丸太が転
がって来て、地べたにふせた
自分の頭の上を飛んでいった
ことがこわかった。



笹岡 虎松さん



朝日出事業所伐木手時代の伊吹さん(右端)

安田川の事業所におつたと
きは、かしき(炊事)の人が
もつそ(弁当箱)に入れてもつ
てきてくれた朝飯を食べて、
そのもつそに昼の弁当をいっ
ぱい詰め込んで仕事に行った。
郷土館の入り口に天然杉の
切り株を飾つてあるが、朝日
出で、それを切つたのが一番
の思い出やね。



伊吹 豊さん



この写真の頃は、山内線か
ら馬路の貯木場へ集まった木
材を馬路から田野まで運ぶ仕
事をしよつた。このとき貨車
二十六台を引っ張つたのが勾
配のきつい馬路管内線の最高
記録になつたがよ。
制動夫二人が貨車の上にか
かつちよつた。彼らの腕にか



中村 熊亀さん

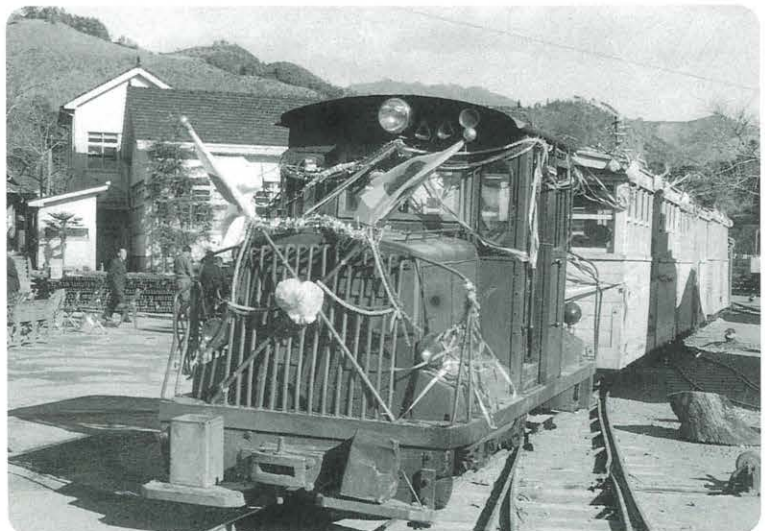
馬路営林署全盛期の 昭和30年ごろの日浦地区

馬路営林署が元気だつた昭和30年頃の営林署周辺と商店街があつた日浦地区の様子を、村民の声をもとにわかる範囲で地図にあらわしてみました。ただし、50年近く昔のことですので、若干ずれがある場合はお許しください。

写真提供 ① ③ ⑦ … 橋本 雄幸 さん
 ② ⑤ …… 井上 誠男 さん
 ④ ⑥ ⑧ … 乾 せき子 さん



⑦ 役者来たる



⑧ 馬路営林署前



① 運動会での組み立て体操（影地区）
（現在、馬路村役場及び就業改善センター）



③ 安田川の河原から日浦方面を見る

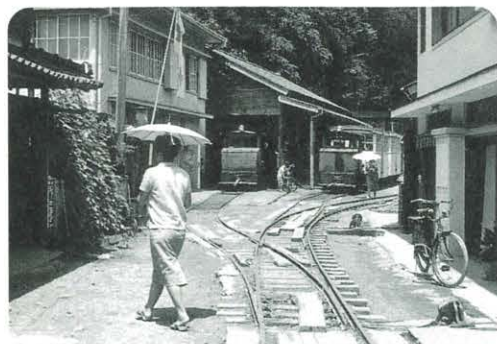


② 杉の瀬橋

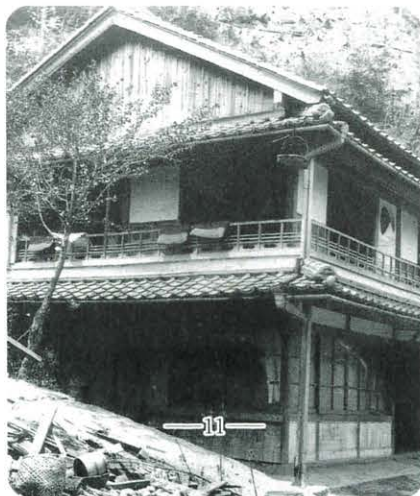


森林鉄道は複線です

⑤ 井上旅館



④ 林鉄の倉庫
（現在、森林組合事務所）



⑥ 上治酒店付近

and SEE YOU AGAIN.

思いやりのある馬路村。
体いっぱいにつけて、馬路村から離れました。
一生忘れることができません。
どうもありがとうございました。

国際交流って何だろう？

私たちは国際化時代に住んでいます。それは生活に困ることとはなほほど、毎日いろいろな国から、家庭、仕事、学校などで使うものが入ってきて、すぐ手に入れることができます。

しかし、ある国で作られたものを使えば、その国の文化が理解できるというものではありません。一般的に、人は国際的な時代に住んでいても、国際交流をしているとは言いがれないと思います。

私が考える国際交流とは「たれでも、年齢や性別、そして言葉にかかわらずできる」ということです。良い国際交流は、良い人間関係に基づいています。そういう意味で、人のふれあいを大事にしてゐる馬路村は、偏見を持たず、温かい歓迎をしてくれたり、気軽に声をかけてくれたりしているので、国際交流が自然にうまくできる可能性を持った地域なのです。

外国人と軽く話せるようになることから始め、自分のふるさとに誇りを持ち、自分の文化や習慣の根底にあるものを深く理解しながら、外国の文化や習慣を認めていくこと。ニュージーランド人である私以外の外国人とも楽しく話し合っ、すてきな国際交流を目指してほしいと思っています。

特集 2

ニコラさんの新しい旅立ち

七月二十三日は、ニュージーランドから日本に来て、馬路村に暮らし、村民からこよなく愛された国際交流員のニコラさんの新しい旅立ちの日でした。馬路村広報への彼女の最後のメッセージと三年間の国際交流の足跡を書き記します。

WE LOVE NICCOLA!

ニコラさんの次の仕事

財団法人 自治体国際化協会

東京都千代田区霞が関3丁目3番2号

プログラムコーディネーター

(地方にいて国際交流員を指導し、お世話をする仕事です)

の 思 い 出

楽しいお祭り



子どもたちの笑顔



GENKI青年会の劇



THANK YOU

楽しく、優しく、元気で、
とつても 貴重な思い出を
本当に、お世話になり

私が思う馬路村

1回目の広報の記事に「帰る際、羊とラグビー以外のニュージーランドのイメージを残したい。そして、都会のネオン以外の日本を身につけて帰りたい」と書きましたが、みなさんどうでしたか。

私の場合、教えたことより教えてもらったことがずっと多く、この3年間で馬路村で感じたことが、私を大きく成長させてくれました。みなさんのおかげで、強く印象に残っているたくさんのおいしさを、これから出会う人々に伝えていこうと思っています。

私は、テレビや新聞では報道されない貴重な日本の情報を預かっていると考えています。実際に馬路村に住んで感じたたくさんのおいしさをたくさんの人に伝えて行くことが、私ができるせめてもの村への恩返しなのです。

私が感じた馬路村のおいしさをあえて1つにまとめるとすれば、それは村民が真に友好的なところだと思います。ずっと都市で生まれ育ってきた私には、友達でない人にあいさつをするなんて、おかしいと思っていましたが、馬路村ではみんながみんなに声をかけよう、あいさつをしようとしています。馬路村の活気は、そういうところからあふれ出ていると思っています。

馬 路 村

ちょっと変わった運動会



地域の人たちと料理教室



馬路村国際交流員
ニコラ・フィンクルさん

小さな子どもから大人まで 人とのつきあいを心から大切にした ニコラさんの3年間の活動



初期の頃のニコラさん



馬路はし拳大会団体準優勝



馬路地区村民運動会



魚梁瀬山の学校体験入学



保育園の子どもたちといっしょに



馬路納涼祭よさこい踊り



フェスティバル魚梁瀬いかだレース



馬路ふるさと楽団でボーカル



魚梁瀬小中の森林体験学習へ参加

ニコラさんの年表

1998年

- 7/23 馬路村へ
よく笑う教育委員会の歓迎式。土佐弁が中国語に聞こえた。
- 8/15 初めての納涼祭
おもしろいキャラクターの人に出会った。
とくに私を後ろから持ち上げようとした人。
- 11月 柚子採りに挑戦
忠告を聞かず、半袖でしたため、柚子の香りとともに荒々しいトゲが印象に残る。



心臓やぶりフルマラソンでボランティア

1999年

- 3月 両親来村。小学校の卒業式に参加
日本語が全然分からなかった母が、かわいくてしっかりしている小学生の姿に感動し、ぼろぼろと泣いた。
- 6月 わーどくつきんぐ IN 魚梁瀬・馬路
参加してくれた村民が、笑顔で積極的に話をしたおかげで楽しい国際交流ができた。どうもありがとう。
- 7/17 フェスティバル魚梁瀬
それぞれのイカダの様子と元気なかけ声があって、とてもおもしろく、思い出いっぱいの日となった。



魚梁瀬小 ハロウィン

2000年

- 4/15 「GENKI青年会」来村 『山桃太郎の冒険』を上演
300人もの村民が観劇。感動と共に嬉しさで胸がいっぱいになった。
- 6/30 馬路中学校でネットボール紹介
生徒より自分の方が盛り上がりってしまった。
- 9月 フルマラソンとおしどりマラソン
村の行事のときの村民の協力と元気さに見入ってしまった。
- 10/22 魚梁瀬地区村民運動会
活気とおあらかな雰囲気を呼吸しながら大笑いして、とても楽しい一日だった。



教育委員会の家庭教育劇

2001年

- 3月 中学校卒業式
馬路村に来たとき、かわいらしかった中学校1年生が、しっかりと大人びて感動的な卒業式だった。
- 7/23 馬路村から東京へ



チャレンジ in カナダ



大好きな馬路村のみなさん。3年間のすばらしい思い出をどうもありがとうございました。8月から新しいアメリカ出身の国際交流員が来村。また、私とは違った国際交流ができることを期待しています。馬路村で学んだことと、たくさんの思い出は一生大事にしていきます。



御両親来村・天保の家でパーティ

**安芸青年
会議所**

未来に残したい風景大募集

— 東部地区ふるさと文化発見事業 —



安芸青年会議所では、あなたの街の未来に残しておきたい風景や建物を募集しています。（芸西村・東洋町）

見慣れた景色、残しておきたい自然、あなたの街のすばらしい建物などあなたのところをおきの場所をご紹介下さい。ご紹介のあった場所を厳選して冊子にまとめようと考えています。



◆締め切り 八月末まで
◆連絡先 安芸青年会議所
〒七八四-〇〇〇四
安芸市本町三丁目
十一・五・三F
☎〇八八七-三五・四五一一

**結いの丘
ドーム**

平日にもどんどん利用しよう

☆中芸広域体育館☆

「結いの丘ドーム」の平日の利用がまだまだ少ない状態です。各町村で取り組んでいるバレーボールやスカッシュ、バレー、バトミントンや卓球等の練習に気軽に取り組んでみませんか。

また、体育館の使用料については、中芸五ヶ町村及び中芸広域連合が主催及び共催する行事に使用する場合や、中芸五ヶ町村内の保育園、幼稚

園、小中学校及び高等学校が教育上の目的で使用する場合は全額免除になっています。ステージや音響システムも整備されていますので、イベントにもぜひご利用下さい。

「結いの丘ドーム」まで
安田町大字東島二〇一七番地
☎〇八八七-三八・六二八八



◆お知らせ掲示板◆

平成14年度学生募集
(愛称 ポリテクカレッジ高知)
◆お問い合わせ先
四国職業能力開発大学校附属
高知職業能力開発短期大学校
TEL 0887-56-4100
FAX 0887-56-4130

通信教育
1・2級技能士資格取得
1級技能士コース 8科
板金科・配管科など
2級技能士コース 23科
鉄工科・めっき科など
◆お問い合わせ先 同上

8月は電気使用安全月間
電気事故は、夏季に集中して発生しています。
電気の安全は、電気を使うあなたの正しい知識が大切です。
電気製品を購入された時は、取扱説明書をよく読んでから使いましょう。
財団法人 四国電気保安協会
TEL 0887-34-3705

24時間健康テレホンサービス

8月	月	麻酔と歯科治療
	火	熱中症
	水	ドライアイ
	木	水泳と耳鼻科の病気
	金	エコノミークラス症候群
土	夏の運動と水分補給	

TEL 088-832-5266

平成13年度自衛官募集案内
(特別職国家公務員)
◆お問い合わせ先
自衛隊高知地方連絡部
安芸募集事務所
TEL 0887-35-2749

**高知医科大学附属病院
看護職員募集**
◆お問い合わせ先
高知医科大学総務部
庶務課任用係
TEL 088-880-2224

教育トピックス



おいしい料理できたかな？

—子どもたちの自主性を伸ばす工夫—

毎年七月に実施される馬路中学校生徒会全校キャンプは、馬路中生徒会行事の中でも一番大きな行事です。今年も五月下旬から、行き先、日程、役割分担など生徒会三役を中心に、全校生徒が計画立案をしてきました。今年度は、野市の青少年センターのキャンプ場に宿泊し、夜須のサイクリングターミナルでの班別自由行動、土佐山田の龍河洞の真っ暗な冒険コースをヘッドライトをつけての探検等、すごく充実した楽しいキャンプができました。

馬路中全校キャンプ

—山の仕事を子どもたちに近づける工夫—

七月五日、大戸山にて、魚梁瀬小中学校が安芸森林管理署魚梁瀬事務所の指導の下で、森林教室を実施。迫力ある天然木の伐採の見学や間伐をしました。「森は馬路村」といっても、山の仕事は危険なこともあり、簡単な体験しがたく、子どもにとつて遠い存在です。そういう意味で魚梁瀬小中学校の森林教室は、親や地域の人が多く携わる山の仕事を、子どもたちに知らせるすばらしい行事です。「森の役割」「木の役割」に目がむく子どもに育ってほしいですね。

魚梁瀬小中森林教室



父親といっしょに

—地域ぐるみで危機管理を考える工夫—

本格的な水のシーズンを迎え、村内では、七月五日に魚梁瀬小中PTAが、七月六日に馬路小中PTAが救急法の学習会を実施しました。魚梁瀬では、大人から小中学校の子どもまで、人形を使って、人工呼吸の習得にチャレンジ。馬路では、PTAの他に、地域の大人にも声がけして、いっしょに練習しました。事故がないのがベストですが、事故が起こったとき、きちんとした対応ができる危機管理のすぐれた地域を目指しましょう。

PTAの救急法



生徒も人工呼吸に挑戦

平成12年度高知県広報コンクール (町村II部)



受賞対象となった広報うまじNo.194



←今年度の広報担当者
左から乾璃穂・浜地洋一・乾弘美

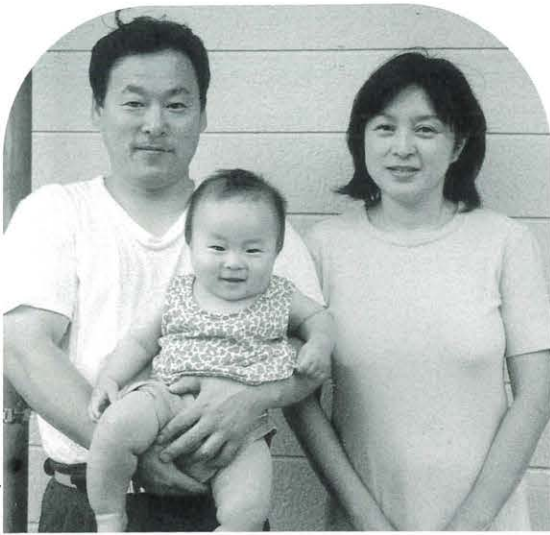
平成12年度高知県広報コンクールで、「広報うまじ」8月号No.194が最優秀賞にあたる支部長賞を受賞しました。

平成11年度の努力賞(第3位相当)に継ぐ、連続の快挙に広報担当者も喜んでます。これからも村民に密着した広報作りを目指します。

快挙 支部長賞受賞

赤ちゃん万歳

「パパ・ママといっしょ」



ゆう せい 島岡 侑正 くん (東川)

平成12年10月25日生

(保護者 島岡雅志・真奈美さん)

初めまして。島岡侑正です。多くの一番のお気に入りは、お母さんにタライに水を入れてもらって、お庭でチャブチャブすることです。暑くてたまらないときは、一日に何度も入ることがあるよ。お父さんは、子どものころ、毎日、川で泳いだり、魚を釣ったりして遊んだらしいけど、ぼくも早く大きくなって、お父さんに川に連れて行ってもらおうと、毎日せつせと泳ぎの練習をしています。



きい す 笹岡 季珠 くん (朝日出)

平成12年9月11日生

(保護者 笹岡 和仁・和代さん)

みんなあこんにちは。季珠です。お母さんは女の子が欲しかったみたいで、「また、こいのぼりや〜」って残念がっていました。八カ月ごろから、歩くことが楽しくて、英珠兄ちゃんの後をついていくけど、乗っかられたり、突き飛ばされたりしながら、鍛えられています。英珠兄ちゃんはお口が早かったけど、ぼくは足が速いんだよ。お風呂と自転車のカゴに乗って散歩するのが大好き。ぼくを見かけたら「オッス」と声をかけてネ。

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	地区
岩城 緑	女	82	13・5・21	岩城和登	祖母	東川
門田 久	男	74	13・6・28	門田久子	夫	魚梁瀬

ご冥福をお祈りします

子ども	性別	父	母	生年月日	地区
大野 光	男	登央	緑	13・6・25	影

ご出生おめでとうございます

七月一日に、魚梁瀬で行われた『歌って走ってキャラバンバン・馬路村大会』に、なつかしい洋楽「慕情」を歌って優勝したのが亀井さん。娘さん夫婦と山村留学生のお孫さんといっしょに、魚梁瀬に住んでいます。音楽だけでなく、絵画や釣りなど多彩な趣味を持った風流人です。



アトリエにて絵画製作に取り組む

フオウオッチング
亀井 明さん(魚梁瀬)

多彩な趣味で、人生をエンジョイ



村内あちらこちら



6月8日 太極拳クラブ発足



6月12日 馬路小交通安全教室



6月20日 パントマイム公演



7月2日 IT学習教室開講



7月20日 フェスティバル魚梁瀬

村のできごと

《6月》

- 8日 太極拳クラブ発足
- 10日 村内一斉清掃
- 12日 交通安全教室（馬路小学校）
- 20日 パントマイム「MIHOの不思議劇場」公演
- 22日 「環境と地域づくり」講演会
- 28日 「馬路村人権の年」推進協議会

《7月》

- 2日 IT学習教室始まる
- 5日 PTA救急法講習会（魚梁瀬）
- 6日 PTA救急法講習会（馬路）
- 7日 魚梁瀬中学校キャンプ（～8日）
- 8日 地域住民参観日（魚梁瀬小中学校）
鮎放流
- 12日 第48回山村留学推進委員会
馬路中学校全校キャンプ（～13日）
- 20日 フェスティバル魚梁瀬
- 21日 森のまるごと体験交流大合戦
- 22日 中芸消防大会
- 23日 国際交流員ニコラさん離村（東京へ）
- 26日 東部こども大学（田野町）
- 28日 魚梁瀬山の学校体験入学（～29日）
- 30日 馬路営林事務所閉所式

編集後記

営林署で仕事をしてきた人を取材して、どの人からも強く感じたことは、危険で大変な仕事をやりとげ、家族を養って生きてきたという「自分の生き方に対する誇り（プライド）」である。また、ニコラさんのメッセージからは、国際交流の土台である人間関係づくりと「自分のふるさとに対する誇り」を持つことの大切さを考えさせられた。広報づくりの中で自然と生まれてきた広報二〇〇号をつらぬくキーワード「誇り（プライド）」。きっとこれが馬路村の一番の宝なのだろう。（浜）

8月・9月 むらの行事予定

月 日	8 月	月 日	9 月
1	水	1	土 始業式
2	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	2	日
3	金 魚梁瀬子ども会 オールナイトキャンプ (~4日) ネイチャーゲーム自然学校2001 (~5日) (魚梁瀬森林公園オートキャンプ場)	3	月
4	土	4	火 村内中学校水泳交歓会 (馬路中学校) 校内水泳大会 (魚梁瀬小学校)
5	日 中芸国体リハーサル大会	5	水 校内水泳大会 (馬路小学校)
6	月	6	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00
7	火 親子水泳教室 (馬路小学校) (~9日)	7	金 中芸地区小学校水泳記録会 (魚梁瀬小学校) 3歳児健診 (安田町保健センター) 13:00~受付
8	水 魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00	8	土 パワーアップ女性塾 (田野町) 13:30~
9	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	9	日 第10回おらが村心臓やぶりフルマラソン大会
10	金	10	月
11	土 パワーアップ女性塾 (北川村) 13:30~ グリーンツーリズム (魚梁瀬森林公園オートキャンプ場) (-12日)	11	火 献血 (JA 柚子加工場) 10:00~11:00 (就業改善センター) 12:15~14:30
12	日	12	水 敬老会 (魚梁瀬)
13	月 県中学校野球選手権開催 (~24日)	13	木 敬老会 (馬路)
14	火	14	金
15	水 納涼祭	⑮	土 敬老の日
16	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00	16	日 第21回馬路おしどりマラソン大会
17	金	17	月
18	土 親子研修旅行 (魚梁瀬小中PTA) (~19日)	18	火
19	日	19	水
20	月	20	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00
21	火	21	金 1歳6カ月児健診 (北川村保健センター) 13:00~受付
22	水 魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00	22	土
23	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 馬路子育て支援教室 (交流センター) 10:00~12:00	23	日 保・小・中運動会 (馬路・魚梁瀬とも) 秋分の日
24	金	⑳	月 振替休日
25	土	25	火
26	日	26	水 魚梁瀬健康ほっとサロン (魚梁瀬多目的施設) 10:00~15:00 魚梁瀬子育て支援教室 (魚梁瀬多目的施設) 10:00~12:00
27	月	27	木 馬路健康ほっとサロン (交流センター) 10:00~15:00 乳がん・子宮がん検診
28	火	28	金 引き取り犬・猫収集日 (就業改善センター) 9:00~11:30 (魚梁瀬多目的施設) 13:30~15:00
29	水 第45回安芸市体育祭 (バスケットボールの部)	29	土
30	木	30	日
31	金 引き取り犬・猫の収集日		

7月末の人口
 世帯数 529世帯
 男 615人
 女 650人
 計 1,265人
 (馬路 954人)
 (魚梁瀬 311人)

編集発行：馬路村教育委員会

住 所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村馬路443

TEL 08874-4-2216 FAX 08874-2-1010

E-mail adress umaji-v@edu.net-kochi.gr.jp

印 刷：有限会社 大 鳥 (安芸タイプ)